宮古剣道連盟

【第１回理事会資料】

【議題】　(1) 古波藏杯第 12 回宮古島幼少年剣道錬成大会について
※別紙のとおり

(2) 第 47 回先島親善剣道大会について
日時：R5.7.15（土）～16（日）
場所：石垣市内
検討事項：①航空便等スケジュール調整
→7/15 は 11:35 宮古空港発　7/16 は 14：40 石垣空港発
②参加者募集（一般及び児童生徒）
→５月末〆で募集する。
③予算の使途（10 万円）
→八重山郡剣道連盟へお酒 3 本程度と、その他お菓子類、
先島親善剣道大会負担金に充てる。

(4) 沖電工杯の派遣に係る予算措置について（5 万円）
※前年度は監督旅費補助及び大会参加費として支出
→今年度からは大会参加費を負担する。

(5) その他
→東西大会補助員可能な会員一覧を作成する。

(6) 次回理事会（第 2 回）について
日時：令和 5 年 6 月 4 日（日）11：00～　@ギフト根間
議案：①第 45 回全宮古剣道選手権大会について
②第 50 回宮古体育大会剣道競技について

日時：令和 5 年 5 月 8 日（月）午後 9 時～
場所：ギフトねま

会長	副会長		局長	次長	理事												
根間　康雄	友利　徳寿	古波藏　実	友利　理志	下地　康隆	徳嶺　浩明	平良　政樹	波平　将朋	下地　幸正	佐久本　聡	譜久村　英二	安谷屋　悟	友利　博明	金城　英知	根間　康輝	下里　憲司	川満　英子	
○		委任	○	委任	委任	○	委任	委任				委任	○	○			

古波蔵一杯
第 12 回宮古島幼少年剣道錬成大会実施要項

1　目　　的　正しい剣道を目指して修練する少年らが日頃練磨した技を競うあう中で、大きな大会に臨む強い精神力と気迫を練り、心身の鍛錬を図りつつ剣士相互の融和団結と剣道修練に限りない協力を惜しまない家族の絆を一層深めることを目的とする。

2　主　　管　宮古剣道連盟

3　期　　日　令和 5 年 5 月 21 日（日）　午前 8 時 00 分　集合
午前 9 時 15 分　開会式

4　場　　所　北小学校体育館

5　試合要領　個人戦とし次の要領による

（1）基本形式の部
保育園児・幼稚園児・小学生とし防具を着用しての稽古経験のない者で次の課目を行う。
①　礼法（座礼・立礼）
②　構え（中段）
③　体の運用（前後・左右）
④　二挙動打ち（正面・右小手・右胴）
⑤　連続打ち（前進・後退正面打ち）
⑥　踏み込み打ち（正面・右小手・右胴）

（2）競技形式の部
小学校 1～4 年生とし、防具一式を着用して稽古中の者で次の課目を行う。
正面・右小手・右胴・小手→面・小手→胴・小手→面→胴・正面→引き面・正面→引き小手・正面→引き胴・小手→面→引き胴・打ち込み切り返し
（元立ちは指導者が行う）

（3）試合形式の部
小学校 5～6 年生で試合稽古経験者

6　試合及び審判　「全日本剣道連盟試合・審判規則・同運営要領」及び本大会実施要項並びに同申し合わせ事項による。

7　試合方法　試合は各部ともトーナメント方式を原則とするが、場合によってはリーグ方式を採用する。

8　試合時間　（1）　基本形式の部・競技形式の部は概ね 3 分間とする。
（2）　試合形式の部は 3 分間 3 本勝負とし、時間内に勝敗の決しない場合は、勝敗の決するまで延長戦を行う。延長戦については、主審の判断により休憩時間を設ける。

9　参加資格　宮古島市で剣道を修練している園児及び児童とする。

10　申込方法　①　申込方法は以下の 3 通りとする。
- 紙による申請書提出
- データ（自筆もしくは打込申請書）をメール（miyako.kendorenmei@gmail.com）にて提出
- 公式 LINE（@258oyekt）による参加申込
  ※必要事項（出場形式、選手氏名、学校名（学年）、保護者氏名、連絡先）を記載すること

②　申込期限は令和 5 年 5 月 17 日（水）とする。
③　申請書（紙）の提出先は宮古剣道連盟事務局（友利）とする。

11　参 加 料　300 円

12　表　　彰　各部門とも優勝者に優勝杯を授与する。
各部門とも 3 位までに賞状を授与する。
試合形式及び競技形式については上位入賞者（ベスト 8 以上）に賞状を授与し、沖縄県幼少年剣道錬成大会へ派遣する。

13　その他　（1）　本大会は原則年に 2 回程度とする。
（2）　優勝杯は待ち回りとし、大会回数、期日、優勝者の氏名を記載したペナントをその都度取り付ける。

14　感染予防対策　・有観客試合とするが、密にならないように観戦すること。
・大会当日、発熱や風邪のような症状がある方は、参加を認めない。

【基本形式の部】課目及び号令

課　目	細　目	号　令
礼法・構え	開　始	「正面に礼」（約 30 度）
	座　礼	「礼法を行います」　　「正座」・・・「礼」
	立　礼	「起立」・・・「提げ刀」・・・「礼」（約 15 度）
	構　え	「中段の構えを行います」・・・「帯刀」・・・「抜け刀」
体の運用	前　後	「体の運用を行います」「前後の送り足〇回」「始め」・・・「止め」　（掛け声は一、二）
	左　右	「左右の送り足〇回」「始め」・・・「止め」
二挙動打ち	正　面	「二挙動打ちを行います」「二挙動の正面打ち〇回」「始め」・・・「止め」　（掛け声はメン）
	小　手	「二挙動の右小手打ち〇回」「始め」・・・「止め」　（掛け声はコテ）
	胴	「二挙動の右胴打ち〇回」「始め」・・・「止め」　（掛け声はドウ）
連続打ち	正　面	「連続打ちを行います」
		「連続前進後退正面打ち〇回」「始め」・・・「止め」
踏み込み打ち	正　面	「踏み込み打ちを行います」「往復〇回」「踏み込んで正面を打て」
	小　手	「往復〇回」「踏み込んで右小手を打て」
	胴	「往復〇回」「踏み込んで右胴を打て」
納刀・礼法	納　刀	「納め刀」・・・「礼」・・・「正座」・・・「礼」・・・「起立」・・・「退場」
	終　了	

【競技形式の部】

（正面・右小手・右胴）→（小手・面）→（小手・胴）→（小手・面・胴）→（正面・引き面）→
（正面・引き小手）→（正面・引き胴）→（小手・面・引き胴）→（打ち込み切り返し）